

耐震診断結果の総括表

2017/9/19 現在

用途	合計	棟数		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性			補強設計・改修工事中
		所有者の区分		I	II	III	
		公共	民間				
学校	29	29				29	
体育館	1	1				1	
病院・診療所	0	0				0	
集会場・公会堂	1	1				1	
百貨店・マーケットその他の物品販売業を営む店舗	0	0				0	
幼稚園	0	0				0	
庁舎	0	0				0	
危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物	0	0				0	
合計	31	31	0	0	0	31	0

構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価区分は次のとおりです。

- I. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し又は崩壊する危険性が高い。
- II. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し又は崩壊する危険性がある。
- III. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し又は崩壊する危険性が低い。

※耐震改修済みの建築物については、Ⅲに分類する。

※震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

※いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

注) 小学校・中学校の棟数については、耐震診断結果表中のNo.の合計を示す。